

平成28年度 第2回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

日 時 平成29年3月23日(木) 午前10時から午前11時30分

場 所 大宮盆栽美術館 2階講座室

【次第】

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 報 告

- ① 平成28年度大宮盆栽美術館事業について
- ② 盆栽アカデミーについて
- ③ 新資料の購入について
- ④ 平成28年度入館者数等について

(2) 議 題

- ① 平成29年度大宮盆栽美術館事業について
- ② 世界盆栽大会へ向けた取り組みについて
- ③ その他

4 その他

5 閉 会

<配布資料>

- 書類番号1 平成28年度大宮盆栽美術館事業について
- 書類番号2 さいたま国際盆栽アカデミーの進捗状況について
- 書類番号3 新資料の購入について
- 書類番号4 平成28年度入館者数等について
- 書類番号5 平成29年度大宮盆栽美術館事業について
- 書類番号6 世界盆栽大会へ向けた取り組みについて
- さいたま国際盆栽アカデミー 平成29年度募集要項

【会議内容】

5 議事

(1) 報告

- ①平成28年度大宮盆栽美術館事業について
- ②盆栽アカデミーについて
- ③新資料の購入について
- ④平成28年度入館者数等について

(意見・質問等)

①平成28年度大宮盆栽美術館事業について

※委員より意見等なし

②盆栽アカデミーについて

委員：初級コースは全8回となっているが、このうちで都合が付かない回、欠席した回などがあった場合、別の日に振替えは可能か。また、定員20人を超えて応募があった場合、どのように対応するのか。

事務局：たとえば、5月にスタートするAクラスに申し込んだ方で、都合の付かない回がある場合、Aクラスと同日の午後に開催されるBクラスへの振替えは可能としたい。同日の別時間への振替えが難しい場合、講義であれば9月からスタートするCクラス以降への振替えも可能だが、実技については、今後検討する。また、定員を超えて応募があった場合は、抽選となる。

委員：開催日がすべて土日となっているが、主婦は土日が忙しい。平日の昼間に開催するクラスがあっても良いのではないか。

事務局：土日以外の開催については、今後検討する。

委員：抽選で一度落選した方は、2回目の応募の際に優先される、といった取扱いをしてはどうか。

事務局：今後検討したい。

委員：実技の道具や材料の料金は受講料に含まれているのか。また、民間で行われている盆栽教室とはどのように差別化されるのか。

事務局：実技の材料に係る費用は受講料に含まれている。道具については、各自でご用意いただく。なお、当館のミュージアムショップにて初心者向けの道具セットを販売する予定である。また、民間の盆栽教室との違いについて、講義、すなわち文化面の座学に力を入れることで差別化を図っている。

事務局：盆栽に関する技術と知識を体系的に学ぶというところに特徴がある。最終的には、海外からの希望に対応できる体制を目指していく。

委員：講義の講師は誰が担当するのか。

事務局：当館学芸員をはじめ、大学教授などの各専門分野の専門家が担当する予定である。

委員：募集要項に講師の名前やプロフィールを掲載すると良いと考える。講師は既に決

まっているのか。

事務局：現在、打診中である。講師のプロフィールについては、次回募集要綱作成時に掲載を検討したい。

事務局：講師名については、決まった段階で現在の応募要項に挟み込んで対応する方法も考えられる。

委員：講師は決まり次第、ホームページ等にも掲載した方が良い。

③新資料の購入について

※委員より意見等なし。

④平成28年度入館者数等について

委員：プラザノースでの出張講座は、非常に良いイベントだった。地元を知ってもらうという意味では、北区感謝デーのチラシが地域の回覧板で回ってきたのも良かった。

事務局：北区民感謝デーについては、議事(2)②にて説明する。

(2) 議題

①平成29年度大宮盆栽美術館事業について

②世界盆栽大会へ向けた取り組みについて

(意見・質問等)

①平成29年度大宮盆栽美術館事業について

委員：配布資料13ページの表にある「G」「企」「主」「共」とはそれぞれどういう意味か。

事務局：「G」はギャラリーでの展示、「企」は企画展示室での展示、「主」は主催、「共」は共催の意味である。

委員：配布資料14ページにある「鉄博連携事業盆栽講座(仮称)」とはどのようなものか。

事務局：今年度は、小学生とその親を対象として、午前に当館での盆栽ワークショップ、午後に鉄道博物館のガイド付き見学を行った。来年度も鉄道博物館と連携した何らかの企画を検討している。

委員：NEXCO 東日本が作成した盆栽のクリアファイルがあるが、今年度連携しており、来年度も連携していくということか。

事務局：NEXCO 東日本は、埼玉県と包括協定を結んでいる関係で、当館との連携としても、昨年度は三芳パーキングエリアで、今年度は羽生パーキングエリアで盆栽イベントを開催していただいているほか、クリアファイルやパンフレットも作成いただいている。来年度も連携を継続していく。

事務局：パーキングエリアは、思いがけず盆栽に出会うという効果的なPRの場と考えてい

る。

委員：配布資料 11 頁の「連携事業」にも NEXCO 東日本との連携イベントを記載するべきではないか。同連携イベントの効果を測れる仕組み、パーキングエリアでの PR がきっかけで来館した人がどれくらいいるのかを測れる仕組みを考えるべきである。JAF 会員の割引利用者が多いことも考えると、車に乗って来る方に対してのアプローチがあって良い。

委員：道の駅を活用するといった方法も考えられる。アンケートの項目から来館理由を見ていくと良い。

②世界盆栽大会へ向けた取り組みについて

委員：資料の内容を見ると、議題ではなく、平成 28 年度の報告事項とすべきと思われるがいかがか。

事務局：ご指摘のとおり、平成 28 年度の報告とさせていただく。

委員：土曜チャレンジスクール盆栽講座で作られた児童の盆栽は、いつ、どこで展示するのか。また、数はどれくらいか。

事務局：世界盆栽大会の開催期間である 4 月 27 日（木）から 30 日（日）まで、当館講座室にて展示する。数は 200 鉢以上となる予定である。

委員：世界盆栽大会への登録者数の見込は。

事務局：さいたまスーパーアリーナでは、宮内庁からの出展を含む、約 200 点の盆栽展示や、売店の出店を予定している。氷川神社では、舞殿に 9 点の盆栽が展示される予定。当館では、安倍晋三首相の盆栽などを展示する予定である。大会の登録者は現時点で約 1,000 人となっており、当初登録者のみ利用可能としていた、会場間を結ぶシャトルバスは、登録者以外の方も無料で利用できることとなった。

委員：アカデミーを開講することによって職員の負担が増えることが懸念される。募集要項に「盆栽文化普及サポーター」についての記載があるが、こうした仕組みにより、職員の負担の軽減を図っていくべきである。そうした人材をアカデミーで育てるために、中級コースは受講者が他者に教えることを念頭に置いた内容があっても良い。

委員：春季特別展にて、現代の盆栽家を集めていくとのことだが、その先で構わないので、現代芸術と現代の盆栽を合わせた展示も検討してほしい。

事務局：現代芸術とのコラボというところでは、過去に 2 回、写真家とのコラボを行った実績がある。現在も盆栽をモチーフにした現代作家のリサーチを継続しているところであるため、当館の盆栽を核として、盆栽を活かしたコラボを検討したい。